

## 平成 27 年 12 月総務企画委員会 議事概要

H27.12.16 作成

日 時：平成 27 年 12 月 15 日（火） 18:00～19:40

会 場：建築士会 会議室

出席者：(担当副会長) 長田 喜樹

(委員長) 芝 京子 (副委員長) 山成 芳直

(委員) 加藤 高明、玉野 直美、沼田 有二、村島 正章、八重野 みどり

(事務局) 須藤専務理事

冒頭、委員長・副委員長から、前日の 12 月 14 日に開かれた理事懇談会の概要を紹介。組織、会員増強、連合会との関係等について多様な意見が提出されたこと、士会活動の柱として「技術研鑽」「会員親睦」「社会貢献」の三本を再確認すべきとの意見に同感したこと等のコメントがあった。

### <確認事項>

#### 1 前回 (11/17) 議事録の確認【資料 1】

メーリングリストで事前送付済みの原案が承認された。

### <協議事項>

「1 総務企画委員会 平成 28 年度事業計画と予算について【資料 2】」及び「2 本会平成 28 年度予算の審査について」

- ・専務理事より、平成 28 年度の委員会事業計画・予算に関連して、12 月 9 日付で発出された「平成 28 年度事業計画及び予算に関する会長方針」を説明。また、本年度の計画・予算と実績が紹介された。
- ・また、平成 28 年度の士会全体予算については、来年 1 月末期限で取りまとめた各委員会・支部・事務局予算案をもとに、3 月総務企画委員会において理事会提出の最終予算案を決定するとのスケジュールが説明された。
- ・質疑応答の概要は次のとおり。

(委員長) ・昨年度までの、総務企画委員会での全体予算の審議のやり方は？ 「委員会等から上がってきたものは、基本的に手をつけない」のが従来方針だったとも聞くが。

(委員) ・この委員会では、予算のいわゆる「査定」を行うことになるのか。加えて、役所では、予算編成方針に反する要求は問答無用で却下されてしまうが、そうした運用になるのか？

(専務理事) ・方針に合わないから、予算を認めないとの強い運用はしていない。ただし、ノーチェックではなく、昨年度は計上内容の疑問点について、各委員会等に質問文書を送り、説明を求めるやり方を導入した。

(副会長) ・そうした中で、旅費の計上内容を変更してもらった例があったと記憶しているが。

(専務理事) ・変更してもらったというより、合理的な積算であることを追加説明してもらったり、軽微な修正をしてもらった例がある。

(委員) ・細かいことだが、会長方針の別紙で示されている講師謝礼のガイドライン額は、税込か、税抜か？ 源泉徴収後の額を渡すとすると、当然、端数が出るが。

- (委員) ・講師には、丸まった額を渡したいとの感覚もある。
- (委員) ・そのあたりで混乱が生じないように徹底してほしい。
- (専務理事) ・別紙の教育講習委員会支払基準表では、「税込」と明示してあること、法人への支払以外は源泉徴収が当然の義務であることから、理解してもらえと思う。
- (副委員長) ・過日の理事会でも講習会等の開催実績データが配布され、整理の必要性が提起されたが、テーマの重複がないか、逆に、ニーズがあるのに抜け落ちているテーマはないか等の分析も、予算審議にあたって必要。
- (委員長) ・一気にやり方を変えることはできないが、各委員会等の計上内容にも少しずつ踏み込んで、実のある予算となるようにしていきたい。

<報告事項>

1 建築士試験の受験資格である実務経験要件 について【資料3】

専務理事より、11月25日理事会での承認を受けて、12月4日付で連合会に回答した報告あり。

(副委員長) ・本会でも手間をかけて議論したうえの回答。全国の回答がどうなっているのか、連合会で取りまとめているはずだから、把握すべきだ。

(専務理事) ・連合会事務局にあたってみたい。

なお、これに関連して、専務理事より、本年度の2級建築士試験の最終結果と免許申請状況を報告。

2 平成28年 建築士会単独開催の賀詞交歓会の中間報告【資料4】

専務理事より、現在までの申込み状況及び来賓の出欠状況を報告。

<その他>

1 次回の委員会について

平成27年12月15日(火)18:00～。

以上